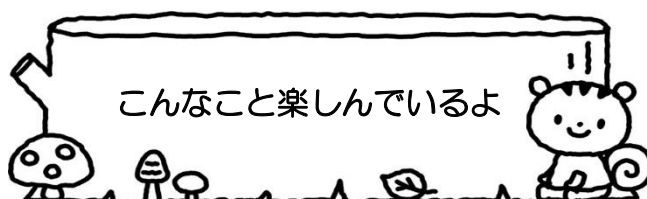




富津市立竹岡保育所
2024.11.7発行

今年は10月を過ぎても、暑い日が多かったですね。ようやく涼しくなってきたと思ったら、雨ばかり……。あまり秋を感じることなく、冬になってしまいそうで心配です。自然は、なかなかこちらが思うようにはいきません。竹岡保育所の子ども達は、畑仕事や外遊びを通して、そのことを実感しているように思います。今回の職員室だよりでは、子ども達の元気の源『食』の秘密も少し紹介しますね。



【9月】

9月1日は、防災の日。今年は、日曜日だったので、翌2日に防災訓練を行いました。保育所では、毎月、様々な災害（火災・地震・水害）を想定した訓練を行っています。この日は『海の近くを散歩中の大地震と津波警報』を想定した訓練でした。

“漁業協同組合付近にいた子ども達と職員が緊急地震速報、津波警報を聞き旧竹岡小学校まで避難。その際に負傷者も発生”という職員にとっても、少し難しい訓練です。この時、子ども達はどんな反応をしたと思いますか？まだまだ、暑い日でしたが、誰一人泣いたりぐずったりすることなく、職員の話聞いて協力してくれました。大人の真剣さを感じ取ったのかもしれません。いつ、どこで災害に遭遇するかわからない今、職員は常に“今、ここで災害が起きたら……”を想定できるよう話し合ったり、研修を受けたりしています。



その翌日、3日は食生活改善サポーターさんにお手伝いいただき『パッククッキング』を行いました。これは災害時に、ビニール袋を使って料理ができる方法です。今年は、カレーを作りました。じゃがいも、人参、玉ねぎなど切った野菜とカレールーを耐熱性のビニール袋に入れ、その袋ごとお湯の入った鍋に入れて煮ていきます。子ども達は、日頃からクッキングを行っているので、上手に作ることができました。



【10月】

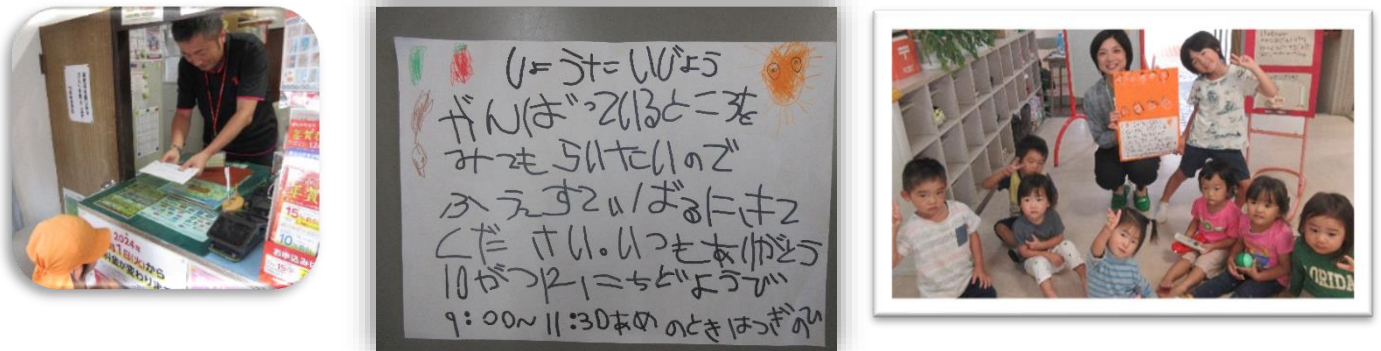
12日に『たけおかフェスティバル』がありました。運動会からフェスティバルと名称を変えて、3回目になります。すっかり、家族みんなで楽しむ行事になりました。このフェスティバルは、子ども達が職員と一緒にやりたいことを考えたり、作ったりしています。

当日まで、子ども達がどんな風に過ごしていたかという・・・

☆アーチのデザイン画を考えたり、装飾品を作ったり・・・1歳児のお友達も色塗りしました！



☆年長の伍桔君が招待状も書いて、郵便局長さんや保育課職員に手渡ししました！



☆草取りや石拾いもしました！遊具のペンキ塗りには、保育課職員にお願いしました！



☆もちろん、練習もしました！



☆こうして迎えた当日・・・

きれいな青空と太陽の下、子ども達手作りの“太陽アーチ”をくぐって、『たけおかまる』が出航しました。大漁旗も風になびき、まさに運動会日和。もちろん、BGM は鳥羽一郎の『兄弟船』です。『たけおかまる』の後ろに『みにたけおかまる』も繋がっての出航は、まさに兄弟船でした。今年は、各家庭の陣地を農園に見立て、伍桔君が手書きで『〇〇のうえん』と看板を作ってくれました。



どの競技も子ども達だけでなく、おうちの人笑顔もあふれていました。パパ、ママだけでなく、卒園児のお姉ちゃんも張り切って参加してくれ、まさに家族で楽しむフェスティバルとなりました。



子ども達と保育士による、バルーン。子ども達は、この遊びが大好きです。4色のきれいなバルーンが青空に映えましたね！



最後はみんなで記念撮影！ おうちの人にも子ども達から金メダルのプレゼントがありました。



本番に向けて、子ども達は様々な取り組みをしてきました。そして、今年は、来賓の方へのプレゼントも子ども達が用意しました。

職員室にある観葉植物の『オリヅルラン』。これが、今年はとても生育がよく、子株がどんどん増えたので、子ども達が株分けをして植え替えました。この『オリヅルラン』の花言葉をご存じですか？“集う祝福”“子孫繁栄”“祝賀”“守り抜く愛”と、保育所にピッタリな花言葉なんですよ♪これからも、どんどん良いことが続くように・・・と皆さんにおすそ分け。フェスティバル前、保育所に高橋市長がいらしたので、市長にもプレゼントしました。



こうして、子ども達は自分達の行事を、自分達で作っています。この一つ一つの活動が経験となり、学びになっていくのだと思います。保護者の方をはじめ、地域の方に、こうした子ども達の想いが少しでも届くといいなあと願っています。

フェスティバルを終えて、心も体もたくましくなった子ども達。次は“収穫の秋”と“芸術の秋”です。

18日は、『たけおかほいくしょ たいけんのうえん』でさつま芋掘りがありました。今年は、飯田さんのご厚意で、中央保育所と金谷保育所のお友達もご招待！大勢で、さつま芋掘りを楽しむことができました。次々出てくる、大きなさつま芋に、大はしゃぎの子ども達。当日は、“広報ふつつ”とJA きみつの広報誌“みずき”のカメラマンさんも来てくれました。広報ふつつは11月号、みずきは12月号に掲載されます。飯田さん、たくさんのおさつま芋をありがとうございました！※詳しくは、6ページのドキュメンテーションをご覧ください。



21日は、畑の日。毎月、畑の日には、畑の先生（込宮さん）が畑仕事を一緒にやってくださいます。この日は、芽キャベツや白菜の苗を植えたり、菜花やノラボーナの種まきをしたりしました。毎月、畑仕事を教えていただいているので、子ども達もマルチ張りが上手になりました。込宮さんの教え方がとてもわかりやすく、子ども達ができそうな作業は、どんどんやらせてくれます。職員も、子ども達の上達ぶりに驚くほどです。

畑仕事の後に、干し柿作りも一緒にやってくださいました。おばあちゃんの台所仕事を近くで見たり、お手伝いをしたりする・・・そんな昔ながらの情景がとても温かく感じる1日でした。



10月25日～27日に富津市民文化祭、11月3日～4日に竹岡地区文化祭と続くので、出品する作品を自然物で作りました。木の枝や貝殻、どんぐりなど、子ども達の手にかかれば、どれも芸術作品に生まれ変わります！



【竹岡保育所 『食』の秘密】

4月におうちの人と一緒に種まきをした“お米”が実り、収穫をしました。収穫もおうちの人と一緒にやったので、この後の脱穀、粳摺りも送迎時にやっていこうと思います。そして、できあがった“新米”を収穫祭の時に羽釜で炊き、おうちの人にごちそうしようと計画中です。石原さんのおうちでやらせていただいている保育所用のお米も、11月初旬に収穫予定です。こうして子ども達は、野菜だけでなくお米を作る機会もあり、常に『食』が身近にあります。日常の保育で、クッキングをすることも多く、みんなお料理することが好きです。毎月の『お米の日』は、子ども達が羽釜でご飯を炊いていますが、このご飯が大人気！約半合のご飯を自分達でおにぎりにして、ペロッと食べています。

また、自分達の育てた野菜を給食室で調理して出してもらったり、子ども達が喜びそうな盛り付けをしてもらったりすることも、『食』に興味を持つきっかけになっているのかもしれません。



[illegible]